

2020

11

O's News

こうしゅ
神経膠腫 ～困難への挑戦～

脳腫瘍・頭蓋底外科センター長
副院長
兒玉 裕司



脳は、複雑な機能を生み出す「神経細胞」と、それを支える「神経膠細胞」から構成されます。神経膠細胞が自律的に増殖し始めた状態が「神経膠腫」です。日本では1

年間に4000-5000人に発生する、もっとも多い脳腫瘍です。

神経膠腫の中でも、増殖が速いものと比較的遅いものがあり、この速度が悪性度とほぼ同じ意味合いになります。世界保健機関WHOで1から4までの分類が作られており、特に4に分類される腫瘍は「神経膠芽腫」と呼ばれ、非常に早く増大します。

神経膠腫の治療は手術が基本となります。特に1と2に分類される腫瘍では、全摘出後に追加治療はなく経過観察となる場合が多いため、いかに全摘出するかが重要となります。これに対し3と4に分類される腫瘍では、腫瘍の塊の周辺にも腫瘍細胞が浸潤しており、腫瘍塊を全て摘出した後でも追加の放射線治療と化学療法が必要となります。

この場合も、追加治療の標的となる腫瘍細胞が少ないほうが効果が期待できるため、最初に多くの腫瘍を切除することが重要となります。

そこで、手術摘出率を上



げる手段が発達してきています。まずは車の運転と同じようにナビゲーションを用い、MRI所見を実際の脳に投影し、肉眼的に区別しにくい腫瘍の

広がりも正確に把握します。次に、3や4に分類される腫瘍では、5-ALAという特殊な試薬を用いて腫瘍を赤く術中に発色させることができます。そうやって摘出しながらMRIを行うことで、残存腫瘍を手術中に知ることができるようになりました。

また、脳は重要な機能が多く、機能温存のためどうしても摘出できない部位が存在します。重要機能のぎりぎりのところまで腫瘍を摘出するためにも工夫があります。術中に脳の電気刺激を行い手足の筋の収縮を検知することで、運動神経の位置が把握できます。さらには術中に起きてもらい(覚醒下手術)、脳の電気刺激を行いながら会話することで、個人差がある言語機能などの部位も確認できます。

このように様々な手段を用いながら、病気になる前に近い生活を長く維持できるように腫瘍と闘っています。



季節を感じる病棟をめざして

北3階病棟 看護師 嶋田 昌子

回復期リハビリテーション病棟は、急性期病棟での治療が終わり、自宅復帰を支援する病棟です。そのため数カ月入院が必要で、Tシャツで入院して長袖で退院というような、季節を飛び越してしまうことがあります。そこで我が北3階病棟は、患者様方に少しでも季節を感じて頂けるように、様々な工夫をしています。折り紙などで壁面の装飾をしたり、ハロウィンの仮装や豆まきをしたり…。

今年は初の試みで夏祭りを開催しました。手作りのモグラ叩きや釣りゲームで患者様からたくさんの笑顔を頂きました。コロナ対策で御家族様の面会も制限されていますが、季節を感じ心のリハビリも行いながら、患者様が自宅復帰できるよう応援していきたく思っています。



当院の省エネについて



事務部 参与 森脇 士朗

病院は生命を守るための施設であるため、医療機器を中心に止められない色々な機器が多数あります。

空調機もその一つです。設定温度は一般的な企業の水準と比べて「夏は低め」「冬は高め」の室温設定が求められており、空調の消費電力も大きくなってしまいます。空調は「快適さ」だけでなく、患者さんの生命や体調を守るために必要であり、簡単に停止することができず温度管理が必要です。体感温度は夏の25℃が暑いと感じる患者さん、ちょうどいい、寒いと感じる患者さん、人それぞれおられます。なので職員の細やかな対応が必要になり、暑くなりすぎないように、寒くなりすぎないように心掛けています。

当院はオール電化なので、空調の次に大きな電力を必要とするのは冬場の給湯です。患者さんの入浴に使用しますが、当院ではコストが安い夜間電力で貯湯し対応しています。また照明は消費電力の少ないLED照明にしています。

使っていない部屋のエアコン、照明を切る習慣を付ける、50歳以下の職員単独の移動はエレベーターを極力使わない、無駄にコピー機を使わないなど、省エネに対する意識や取り組みは一般家庭と同じです。





日本の四季暦

「二十四節気と七十二候」のお話

ガーデンQoo
秋吉 美穂子

しもつき 霜月

日増しに気温が下がり、北国からは初霜の便りが届きます。
紅葉の美しい季節、鮮やかな彩りに染まります。

十八節気

霜降

11/2～6(五十四候) 楓蔦黄 / もみじつたきばむ

北海道から紅葉前線が南下して、落葉樹の葉が次々と色づきます。奈良の曾爾高原のススキ原、40ヘクタールもの山の斜面に黄金のススキが広がります。「畑のキャビア」と呼ばれる秋田の珍味「とんぶり」、[ほうきぎ]という植物の実を、何時間もゆで、丁寧に一つ一つ皮をむいたものです。



十九節気

立冬

11/7～11(五十五候) 山茶始開 / つばきはじめてひらく

やさしく冬の訪れを告げる、山茶花(さざんか)が咲き始めます。やわらかくあつさりとした秋れんこんに比べ、冬のれんこんは粘りと甘みがグッと増します。すりおろしたれんこんに、えび、銀杏を散らし蒸した「れんこんまんじゅう」。だし汁、しょう油にかたくり粉でとろみをつけたあんをかけていただきます♪



11/12～16(五十六候) 地始凍 / ちはじめてこおる

夜の冷え込みも厳しくなり始め、大地が冷えて固くなります。子供の成長を祝い、自覚を与える為の儀式「七五三」。女の子は三才で髪を伸ばす「髪置」、七才で帯を使用「帯解」、男の子は五才で袴をはく「袴着」などの古くからの儀式がひとつになりました。千歳飴には、無事に成長するようお願いがこめられています。

11/17～21(五十七候) 金盞香 / きんせんかさく・きんせんこうばし

「雪中花」とも呼ばれる水仙の花が咲き始める頃です。以前はよく見かけた庭の柿の木。ビタミンCを多く含み、「KAKI」として、世界に知られた秋の色ですね。戦中、戦後の食糧難を助けました。「柿は三月飯米」ということわざがあり、三ヶ月米の代用食として飢えをしのぎました。



二十節気

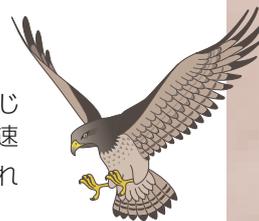
小雪

11/22～26(五十八候) 虹蔵不見 / にじかくれてみえず

どんよりとした重い灰色の空、陽差しも弱まり、虹を見かけることもなくなります。晩秋から初冬のこの時期に移動性高気圧に覆われる暖かい日「小春日和」。英語では「インディアン・サマー」、ドイツ語では「老婦人の夏」と呼ばれます。

11/27～12/1(五十九候) 朔風払葉 / きたかぜこのをははらう

北風が吹き(朔風)、僅かに残っていた木の葉を吹き飛ばします。「速い翼」が転じた隼、鋭く尖ったくちばしと鉤爪、小鳥や小動物、虫を捕食し、飛翔速度は時速200km!昔は鷹狩にも使われ、現在では新幹線や探査機の名称としても親しまれていますね。



おでんやお鍋の美味しい季節です。



今月の野菜

トマト その3

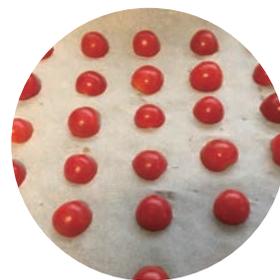
ナス科ナス属

原産地: 南アメリカ高原地帯

花言葉: 「完成美」「感謝」

魅力あふれるトマト♪今回は「ドライトマト」のお話です。最近人気の「ドライトマト」、地中海では日本の「干しいたけ」のような存在で定番としてお料理に欠かせないものです。

トマトに含まれるリコピン、抗酸化作用が強く、ジュースにしたり、加熱して調理すると、その細胞壁がこわれたり柔らかくなるので吸収率がアップ!加熱することでうまみ成分もアップ!トマトを乾燥させると、水分が蒸発、リコピンが濃縮され、同じ重さのトマトの10倍～15倍に。半分に切ったミニトマトに軽く塩をふり、天日干しなら4日程。オーブンで作る方法は、オーブンシートを敷き、切り口を下に、軽く塩をふったミニトマトを入れ140℃で様子をみながら一時間から一時間半。ドライ加減はお好みで♪甘みの増したドライトマトをお試し下さい♪



外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	西岡	兒玉
	午後	—	大西(宏)〈血〉	久我	西岡	兒玉
2診	午前	高橋	福留	角田	前岡	松岡
	午後	高橋〈血〉	福留〈FUS〉	角田	前岡	松岡〈脊〉
3診	午前	担当医	担当医	担当医	富士井	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	片山
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
6診	午前	—	神経内科 小坂田	神経内科 赤谷	内科 電門(カマド) 第4週 てんかん 田村	神経内科 小坂田
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	第1・3週 神経内科 山下 第4週 てんかん 田村	—

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30

(2020.11)

連携協力医療機関のご紹介(No.210)

正井歯科医院

院長:正井 智之



【所属学会・認定医・専門医】日本歯科医師会所属、障害者歯科学会所属、臨床研修指導医所属、うみの風こども園園医所属

【診療科目】一般歯科・口腔外科・歯科矯正

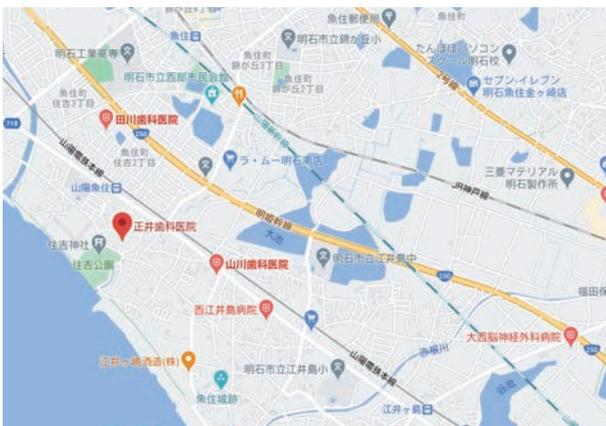
【住 所】明石市魚住町中尾150-1

【電 話】078-947-6480

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30~12:30	○	○	○	/	○	○	/
14:30~19:30	○	○	○	/	○	△	/

△13:30~17:00 休診日:木曜・日曜・祝日

※新型コロナウイルス感染拡大により、診療時間・休診日等が記載と異なる場合がございますのでご注意ください。



正井院長からのメッセージ

口腔外科・矯正歯科はそれぞれ月一回専門医・認定医による診療日を設けています。お電話で確認の上、ご予約してください。

連携協力医療機関のご紹介(No.211)

大槻整形外科

院長:大槻 康雄



【所属学会・認定医・専門医】医学博士、日本整形外科学会(認定専門医・認定スポーツ医)、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会所属、中部日本整形外科災害外科学会所属、関西関節鏡・膝研究会所属、日本人工関節学会所属

【診療科目】整形外科

【住 所】明石市樽屋町7-2

【電 話】078-918-6161

外来受付時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:00	○	○	○	/	○	○	/
17:00~19:00	○	○	○	/	○	/	/

休診日:木曜・土曜午後・日曜・祝日 (土曜午前臨時休診あり)



大槻院長からのメッセージ

私は2002-2010年度まで明石市立市民病院に勤務させていただき、その後京都九条病院(ひざ・スポーツ・肩・リハビリ・人工関節に特化した病院)でひざ治療の修練を重ねてきました。この度、本年4月から四方整形外科のクリニック継承して診療を行っています。今まで手術中心で診療してきましたが、保存治療の奥深さを感じています。また、膝の手術に関しては、人工関節や内視鏡手術、靭帯再建など近隣の病院に出張して継続しております。困っている症例があればセカンドオピニオンも含めてご相談ください。私だけで出来ることは限られています。当院スタッフや周囲の医療機関の協力をいただきながら、頑張っていこうと思います。よろしくお願いたします。

